

「秋田大学学生海外派遣支援事業」帰国報告書

記入日： 2016年 1月8日

所属：教育文化学部／研究科 国際言語文化／国際コミュニケーション課程 3年

氏名：高橋 真里奈

派遣先大学名（国）：グリフィス大学（オーストラリア）

在籍身分：交換留学生

派遣期間：2015/7～2015/11

渡航年月日：2015/7/15

帰国年月日：2015/12/3

○派遣先大学における授業等の履修状況

	8:00～10:50	9:00～11:50	～	15:00～15:50
月				
火				
水	Power In East Asia	An Introduction To Asia		
木		Globalization The Asia pacific and Australia		Globalization The Asia pacific and Australia
金				

○研究・学習概要及び今後の勉学計画

オーストラリアでは主に、経済学を勉強しました。アジア経済とオーストラリア経済のつながりに興味があったので、それに関する授業を履修しました。講義内容は、水曜一コマ目の Power In East Asia では、アジア諸国の近年の急激な経済発展に関するものについて学習しました。最初の30分はパワーポイントを使った講義で、残り半分は

学生とディスカッションをします。私より日本経済のことをよく知っている学生がたくさんいたので驚きました。予習をしていないとまったくディスカッションに参加できないので、毎週の予習はかなり頑張った思い出があります。An Introduction To Asia では、アジア諸国が成り立つまでの歴史や、背景を中心に、経済、文化などを学びました。授業前半では、レクチャーを、後半ではビデオ鑑賞をしました。Globalization The Asia-Pacific and Australiaでは、政治経済学の視点からオーストラリアとアジア諸国のつながりについて勉強しました。ワークショップとレクチャーの2種類があり、ワークショップではクラス全員の前で発言しなければならなかったのが個人的にこの授業が一番きつかったです。しかし、それと同時に一番精神的に鍛えられた授業でもありました。とにかく、どの授業も課題とリーディングの数が膨大だったのが印象的です。

○生活面について

わたしの滞在形式はシェアハウスで、シェアメイトとともに過ごす時間が一番思い出に残っています。シェアメイトの友達と遊んだり、出かけたり、一緒にご飯を食べたりするのが楽しかったです。オーストラリアの食生活はハンバーガー、ケバブ、フィッシュアンドチップスが主流で、ボリュームもかなりありました。日本食が恋しくなったときは、割高ですがしょうゆやみりんなどの調味料をスーパーで調達し、日本料理を作っていました。ジャパニーズマートもあるので、ゴールドコーストは日本人にとってはかなり住みやすい街だと思います。

○その他留学全般にわたる感想

オーストラリア滞在中は毎日刺激的なことばかりでした。日本では体験できないような生活ができたことは、一生の宝物になると思います。

